

「給水のためのタイムアウト」の取り扱いについて

- 1 大会では、各セット（第3セットを含む）において、リードするチームが13点に達したとき、30秒間のためのタイムアウト（以下WTO）が自動的に適応される。その際、副審が吹笛をし、コートを退くよう促し計時する。ハンドシグナルは示さない。
- 2 このWTOは給水を目的とするものであり、その間選手はウォームアップエリア（付近）で給水を行う。またチームスタッフはベンチに座っているものとする。
（給水を行うか否かの判断は、選手本人の意思による。給水を行わなくても同エリア内に止まること。控えの選手も同様である。）
- 3 第3セットは、13点でチェンジコートをした後に引き続きWTOとなる。その際、主審側を通してコートを移動したチームの最後尾の選手がベンチ側のサイドラインを通過した時点で、副審が吹笛をし、計時を始める。
- 4 正規の中断の要求やリベロプレイスメントよりもWTOを優先する。正規の中断の要求やリベロプレイスメントを行う場合は、WTOの後にその手続きをする。

*給水タイムは給水及び汗拭きを目的としているので、給水タイム中は次の点に注意すること。

プレーヤー	ウォームアップエリアにおいて給水することが出来る。モップをかけるためにコートへ入ることは許されるが、それ以外はウォームアップエリア付近にいることとする。ウォームアップエリアへは最短距離となるコースを通して移動する。
チームスタッフ	ベンチに着席すること。プレーヤーに対して戦術的な指示を出すことは出来ない。ただし、マネージャーは給水などの補助のため、ウォームアップエリアに行くことは認められるが、監督、コーチからの戦術的な伝言等をしてはならない。

*WTO後、選手がコートインしたら通常のTOの取り扱いと同様にする。